

## 「ICOM-ASPAC 日本会議 2009」開催概要

ICOM-ASPAC、ICOM 日本委員会、日本博物館協会及び国立科学博物館の主催により、2009年12月7日（月）～9日（水）まで国立科学博物館（東京・上野）を会場に「ICOM-ASPAC 日本会議 2009」が開催された。

会議には、カミンズ ICOM 会長やアンフラン事務局長も来賓として出席し、意見交換などをおこなった。また、ユネスコからは美術館・博物館に関わる活動報告があった。

### 【概要】

○開催日時：2009年12月7日（月）～9日（水）

○会場：国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）

○参加者及び参加国（地域）数

参加登録者数 176名（21カ国1地域）

参加者数 約150名（20カ国1地域）



<参考>参加国（地域）：20カ国1地域

（日本、アゼルバイジャン、イラン、インドネシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、スリランカ、タイ、中国、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ウズベキスタン、キルギスタン、ラオス、アメリカ合衆国、ノルウェー、バルバドス、フランス、台湾）



○主なスケジュール

12月7日 開会セレモニー、基調講演、セッション、ウエルカムパーティ

12月8日 セッション

12月9日 ワークショップ、東京宣言、閉会セレモニー、エクスカージョン

○テーマ

メインテーマ 「アジア太平洋地域における博物館の中核的な価値の再考と地域遺産」

セッションテーマ

「アジア太平洋地域の地域遺産」

「アジア太平洋地域の博物館のためのネットワークの構築」

「アジア太平洋地域における倫理規定のための人材開発」

## ○東京宣言

議論の結果を踏まえ、会議の成果を「東京宣言」として発表し、翌年の上海総会に発展することを確認した。

## 【会議の内容】

### ○基調講演

3人の講演者がそれぞれのセッションに関連した基調講演を行った。

- ・「地域遺産と博物館：アジア・太平洋における博物館ネットワークへの展望」  
日高健一郎（筑波大学大学院教授）
- ・「博物館を世界に向けて開く-情報の大河」  
ゴモン、マーティン・フェローズ（ビクトリアミュージアム上席研究員）
- ・「世界との動的インターフェースにおける博物館倫理」  
マーフィ、バーニス（ICOM 倫理委員会委員長、オーストラリア博物館協会会長）

### ○セッション

#### 1. 「アジア太平洋地域の地域遺産」

文化遺産や地域遺産をいかに活用するかといった視点から中国、台湾、ラオス、シンガポール、日本からの事例発表と質疑を行った。

#### 2. 「アジア太平洋地域の博物館のためのネットワークの構築」

シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、フィリピンの博物館の研究成果や IT を活用した標本資料等の活用方法などの事例発表と質疑を行った。

#### 3. 「アジア太平洋地域における倫理規定のための人材開発」

職業倫理規定と人材育成について日本、台湾、ベトナム、韓国の博物館での事例発表と質疑を行った。

### ○ワークショップ

セッション3に関連し、15の事例を4つ（コレクション・コミュニケーション、施設・資源、博物館・社会・法、専門職的活動・利害の衝突）のグループに分け、多様な視点のもとにそれぞれのケースについて ICOM 倫理規定の適用などに関するワークショップを行い議論した。

### ○ポスターセッション

日本館1階中央ホールにてポスターセッションを行った。テーマに沿ったポスター以外にも、広く博物館の紹介等も行われた。また、発表者と参加者が直接意見交換を行う時間を設けた。

（ポスター 17カ国 約50枚）

